



菊池春苔「わがまち大船渡～椿郷～（半紙）」

大船渡市は「椿の里」とされるが、字面の印象で里⇒郷と表現してみた。

書道研究墨州院は創立80周年、この書道研究月刊誌『墨州』は、第49巻目を迎えました。記念すべき第50巻、つまり、発行50周年目まであと1年となりました。毎年この4月号では、現在に至るまでの経緯を述べてきました。今回は、編集作業の苦労話を。

大企業でもやっと導入し始めという大学卒業後すぐの頃、ワープロを覚えました。デジカメは未だ20万画素、400万画素時代のネット環境も整え、カラーコピー機迄の最新鋭の機器に囲まれていた当時、訪れる専門業者氏達からは、書道教室とは思えないと驚かされていました。

当初は、カーテンで外光遮断し400W4灯のライティング、最高級カメラとレンズで、経費節減のため作品をシート目一杯にズレないよう揃えて貼り、設定を変えながら撮影。ネガから写りの良いものを選択、大きさを指定し手焼プリント依頼。写真の周りをカットし、原稿に貼付。文字は原稿用紙に手書。特に夏場の撮影は、作品がヒラヒラすることから、窓を閉め扇風機も使わず締め切った部屋（当時の大船渡はエアコン不要の温度）で丸1日の作業。本当に辛い作業でした。一時は、現像からプリントまで全て自前で行っていました。今現在、パソコンとデジタルカメラでメールやメディアでのデータ出稿。揮毫や対人関係はアナログですが、他はデジタル社会の恩恵に浴しております。

墨

州

2026

四月号

No. 577

第55回記念気仙書友会展

日時：2026年3月25日(水)～29日(日) / 会場：岩手・大船渡「サン・リアショッピングセンター」

無

鑑

査

高二
荒木 菜凜
叶希
う望

荒木菜凜

高一
年竹内 梨夏
叶希
う望

竹内梨夏

高
二
槻館 舞羽
叶希
う望

槻館舞羽

高
二
吉田 優里
叶希
う望

吉田優里

高
三
菊池 七実
叶希
う望

菊池七実

力頼
る
川上 仁愛
中二年

川上仁愛

団応
援
直井 陽那乃
中三

直井陽那乃

団応
援
佐藤 心
中三

佐藤 心

高
二
熊谷 琉花
叶希
う望

熊谷琉花

高
二
荒木 菜蓮
叶希
う望

荒木菜蓮

道歩
む
松川 明椰
中一年

松川明椰

道歩
む
金野 龍真
中一年

金野龍真

道歩
む
白井 碧海
中一年

白井碧海

力頼
る
和泉 結空
中二年

和泉結空

力頼
る
鈴木 幸愛
中二年

鈴木幸愛

ん前
し
白井 友香
四年

白井友香

ん前
し
山岸 夏椰
四年

山岸夏椰

共友
と
井上 千嘉
五年

井上千嘉

共友
と
寺澤 つぐみ
五年

寺澤つぐみ

せ目
指
平山 咲夏
六年

平山咲夏



記念賞
伊藤心優
(中央)



サン・リア
特別賞
村上那月
(広田)

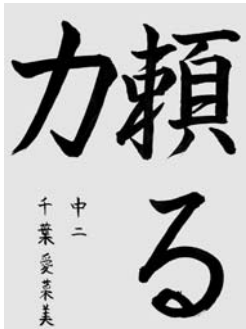
大賞
齊藤晶
(花巻)



特 別 賞



吉田弥生



千葉愛菜美



遠田怜唯



岡田梓紗



磯谷莉空



金野友梨子

課題B(二段〜五段)



行書体



課題C(五段〜)



行草書体



▼村上佛山(一八一〇〜一八七九)：江戸時代後期から明治時代に活躍した漢詩人。詩を中心とした情操教育を行い、多くの優れた人材を輩出。

【古典の反映】

古意を採り入れた表現を求めるには、様々な古典の鑑賞・臨書が大切です。また、左に掲載した以外にも、数多くの古典に触れることで、幅広い表現法が身に付きます。

牛概造像記(?)

遲為止息牛欄

鄭羲下碑(鄭道昭)

伊昔桓武

雁塔聖教序(褚遂良)

不惑形潛莫

建中告身帖(顏真卿)

外服勞社稷

蘭亭序(王羲之)

翹舎萬殊静
於所遇輕得

舍舟五律(倪元璐)

系舟為軌陸如車
百丈滑於舟如車

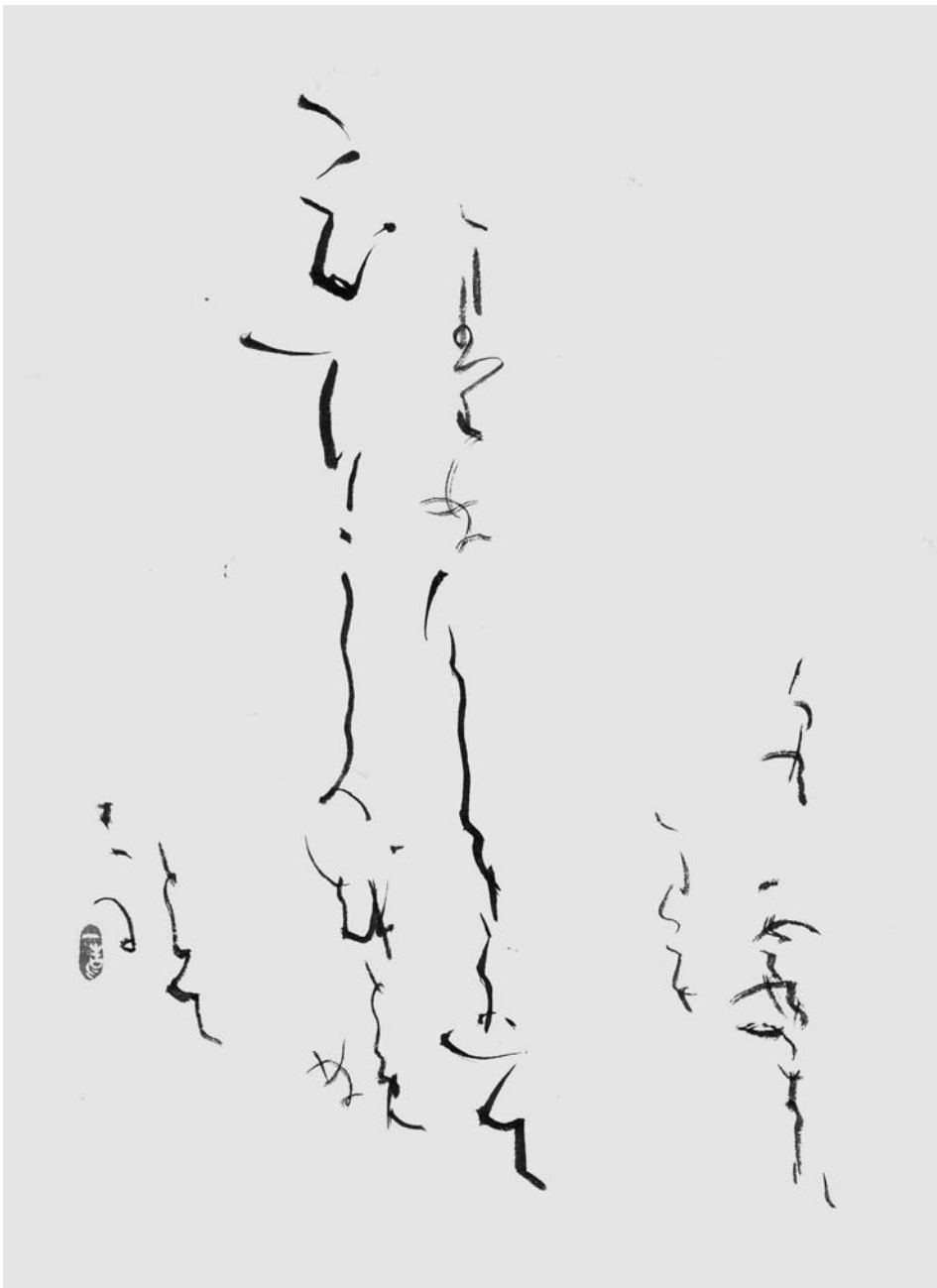
かな部規定

初心は、かな基本編（別冊テキスト）を経てから散らし書きへ進むこと。中級までは、この手本（巻末に原寸大赤刷手本綴込）に忠実なものを求める方が学び易い。上級は、この書風に捉われず自由な表現を求めること。

朝霧の 晴れ間も待たぬ けしきにて 花に心を とめぬとぞ見る（紫式部）
朝霧の 晴れ間も待たぬ けしきにて 花に心を とめぬとぞ見る（紫式部）

散らし書き（源氏物語／四・夕顔）

客員教授 福島一浩書



▼紫式部（九七〇頃〜一〇三二頃）…七九五首の詠歌があるが、紫式部自筆の『源氏物語』は二種類あったとされるが伝来していない。

～美学と流儀～ 一浩の眼

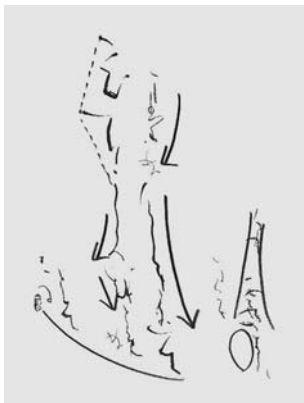


福島一浩（昭和三十年一月一日生／東京都出身）

- ◆ 主な役職・略歴 ◆
- ・ 日展会友
- ・ 読売書法会理事
- ・ (公社)全日本書道教育協会理事
- ・ 個展複数回開催（銀座）

『高野切』時代に完成の域に達した「かなの美」は平仮名と変体仮名による表現です。よって漢字をそのまま歌の通りには書かず、場面により平仮名と変体仮名を組み合わせることで漢字では表現出来ぬ文字群、行の美（流れ）にマッチする工夫がなされました。平安後期に登場する名筆では漢字を生かすものが多くなります。今回「朝霧」「花」を漢字のまま使用しましたが、前回「空蟬」を象徴的存在としています。又、紙面のどのあたりに漢字を配置するかが大切な選択となり、合わせて墨量をいかにするかへの考慮が求められます。

■ 第一行：複雑な「霧」「の」を一体化。「者れ」は右下へ。「万毛」は軽妙に。 ■ 第三行：「ぬ」の表情と左下への指向を受けて「介しき」は右下へ。「迹」は細めの線を混入させましょう。 ■ 第四行：「花耳」は象徴的な存在になります。「ころ」は左下方へ向かい第三行との対応を。「ぬ」は添えるように。 ■ 第五行：「とぞ」は連綿、「三」は放ち書き。作品の影の部分となりますが、紙面での高さ、配置の決め手として大切。



細字部規定

实用楷書にも活かせる、端正な造形美で表現している。上級は、この書風に捉われず、自由な表現・書体を試みたい。

無知蒙昧 むちちもうまい
 明窓浄几 めいそうじょうき
 門戸開放 もんこかいほう

知識や学問がなく、物事の道理や本質が分かっていない様子。
 きれいに片付いた快適な勉強部屋や書斎のこと。
 制限を撤廃して自由な出入りや経済活動を認めること。

楷書体・行書体

錬士 武川象濤書

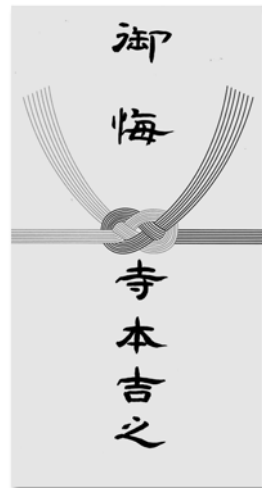
無知蒙昧 無知蒙昧
 明窓浄几 明窓浄几
 門戸開放 門戸開放

教室名 般級位 姓号名書

▼四字熟語…漢字四文字で構成される言葉で、一般に慣用句的に用いられる言葉。

実用書に活かす

寸志…慶事に使用。
 志…凶事に使用。(淡墨または青墨を使用)
 ◎紙面が傷つく筆記具(ボールペン等)は、使用しない。
 ◎水引は、繰り返し起きてほしくない事柄の場合、結切りを使用。
 (例…結婚祝・凶事全般)



結切：凶事全般



蝶結：一般慶事



結切：結婚祝

條幅部

同課題であれば、掲載課題以外にも、行書体・篆書体なども可。
上級は、創意工夫を試みたい。

花密流鶯亂啼 (馬臻^{ばしん})

一面の花の中から鶯の鳴く声がここかしこに聞こえる。流鶯は枝から枝へ移り鳴く鶯。

楷書体

主宰 菊池春苔書

苔密流鶯亂啼

行書体

錬士 菊池苔鳳書

花密流鶯亂啼

行草書体



主宰 菊池春苔書

隸書体



鍊士 菊池春苔書

▼馬臻（生没年不詳）：中国・元時代の詩人。道教の僧侶として活動しながら、優れた漢詩を数多く残した。

挑戦

條幅部は筆法や空間美（空間処理）の研究につながります。段級位問わず積極的に挑戦することで、他部門との相乗効果による実力向上を図ります。

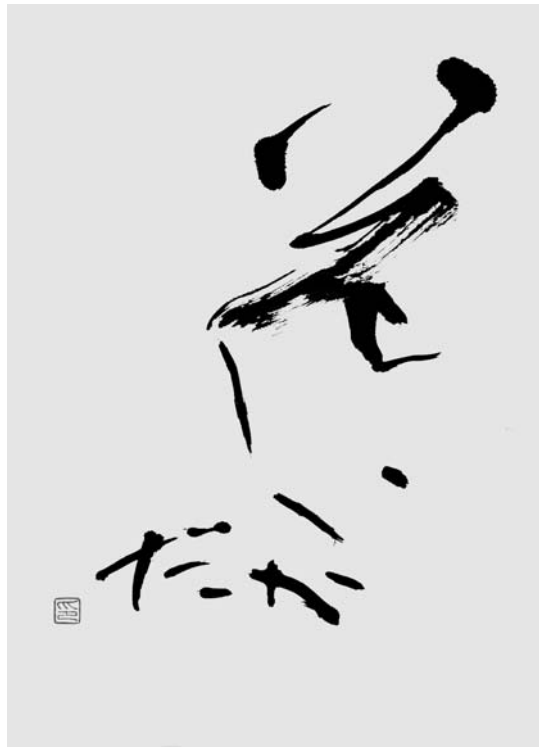
漢仮交文書部

この部門は、線質美・墨色美・構成美・余白美などの豊かな書表現を求めため、様々な文字遣い・書体を用います。可読性の有無に関わらず、装飾性や書への親しみや楽しみを味わいましょう。

半紙

花いかだ

主宰 菊池春苔書



広がる表現法



- 作品の表現は、文房四宝（筆墨硯紙）の選び方によって、多くの変化をつけることが出来ます。
- ① 筆：柔毫・剛毫
 - ② 墨：色・濃・淡・潤・濁
 - ③ 紙：吸墨性あり（滲み易い）
吸墨性なし（滲みにくい）
- ①～③のそれぞれの組み合わせ・調和によって作品のイメージも変わります。また、構成の工夫も表現の一つです。
- ▼掲載の手法に拘らず、自由な表現を娱きましょう。

半折

君に逢ひ

奇跡と思ふ

青き春

（北川吉史）

主宰 菊池春苔書



▼北川吉史：文筆家。現代感覚的で端的な口語遣いに、文語表現も織り交ぜた詩情を、時には直截的にあるいは間接的に詠む。漢仮交文書作品の表現に最適な文字遣いである。

書のナビゲーション



はなかすみ
「花霞」

満開の花（本来は桜）が、遠目には霞がかかったように白く見える様。

書ムリエ

きく ち しゅん たい あきひこ
菊 池 春 苔 (明彦)

◆師匠◆
作 品…明 石 春 浦
" …金 子 卓 義
古 典…菊 池 海 雲
篆刻・刻字…千 田 得 所

◆主な役職◆
毎日書道展漢字部審査会員
第77回展漢字部運営委員
漢字部Ⅰ類審査副部長
東北仙台展常任理事・副実行委員長
一瀾書道会副理事長・事務局長
気仙書友会会長・審査委員長
サンリア展審査委員長

文房四宝

- 筆：羊毛ムジナ（神技堂） @4,400
- 墨：書法一品（墨運堂） @935
- 紙：台湾風漉佳鳳（墨州堂） 半紙100枚 @2,500
- 印：後藤大峰（3分変型）
- 印泥：西泠印社朝暉 1両装 @8,800

このコーナーは、書ムリエの作品披歴が目的ではなく、筆墨硯紙の知識や情報を紹介し、用具・用材への意識を持ちながら揮毫することの一助となればと願っています。
用具・用材の相談や質問を受け付けます。

ナビゲー書ン

12月7日(日)17:15、稽古終了後直ぐに。今日は穏やかな天候に恵まれた。ここ2、3日は寒く雪が薄っすらと積もった。3日前には、毎日出没する熊を銃猟。近くに柿木があり、決まった時間に食しに来ては昼寝をして棲処へ帰るを繰り返していたらしい。すぐ側には施設もあり、周辺住民も一安心であろうか。10月末には本院から道を辿れば190m、直線距離にして約100mのBRT駅に出没もした。人を預かる身としては、生徒の生命や自身の死活問題にもなりえる出来事であった。無関係の遠くの人々からは、熊が可哀想との、まったくもって怪しからん感情的なクレームが届いているらしいが、そういう輩にとっては他人事であるからこそであろう。自身や家族の側にクマが出たらどうするのか。まさか可愛がるわけではあるまい。更に、仕事上で不愉快なことが立て続けに3件もあり、腹が立ち心も荒む。相手をプタづけたくなる（気仙語で、殴って張り倒すこと）。筆を執り冷静さを何とか取り戻している次第である。

花霞。いい詞である。情景が思い浮かぶ。5倍淡で表現してみた。霞をイメージしながらも、余りボヤつかないよう飛白・渴筆を多用した。遊び心もあり、インテリアとしては良い感じであろう。

紙の蘊蓄

書道用紙による墨の変化

II 各論

【墨液の作製】

- ①濃墨液：硯に純水9gを滴下し、30分手磨り。墨すり機に30g純水を入れ、40分磨墨。
- ②淡墨液：手磨りで作製した濃墨液を31倍に純水で希釈。希釈率は基線とにじみが適度に現れるところとした。墨すり機で作製した濃墨液は40倍希釈。希釈基準は手磨りと同様。
- ③墨液の固形分濃度測定：赤外線水分計で測定。手磨りサンプルが少量のため測定困難。墨すり機は濃淡3回測定。

【墨書方法の検討】

墨書は手書き。筆圧と運筆速度が一定しない場合、墨書結果に差異が生じることが懸念されたため、手製の治具を製作した。これにより、筆圧は固定され、

運筆速度はタイマー測定により4cm/秒の速さにした。機械式も検討したが諸条件が整わないため断念。

《筆圧&運筆速度固定器具（手動）》



【墨書結果（サンプル）の観察】

墨書サンプルの観察には「卓上電子顕微鏡」を使用。観察部分は「原紙及び基線とにじみの境界部分」とした。

【淡墨による墨書サンプル

結果と考察】

《墨書結果》

前記の用紙（8種）、墨（4種）、硯（3種）を各々1種類毎に固定して測定した。用紙は25cm、羊毛筆で約23cmの直線を墨書した。

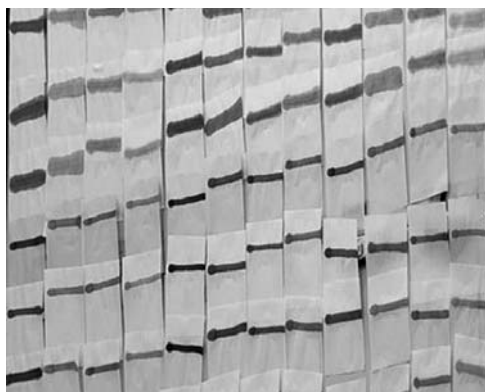
墨書の結果、中国画仙「紅星牌・蘭亭牌・鳳凰牌」3紙は基線とにじみがよく現れ、雁皮紙も現れた。他紙についてはあまり現れなかった。今研究は墨書特性を基線とにじみとしているため前者4紙は特性を有するとし、他紙4紙は特性がないとし

た。また、墨、硯の種類によ

って墨色やにじみに変異が生じることが確認できた。これは煤粒子の大きさ及び硯の鋒鈍の粗密に因るものと考えられる。

《墨書サンプル12種×8種類

計96サンプル》



金崎峰萃（治信） 1957年 愛媛県(旧)伊予三島市生

- ・「紙のまち資料館」元館長
- ・英国王立芸術家協会元会員
- ・書道パフォーマンス甲子園発起人
- ・書道研究墨州院参与



雨畑硯は、山梨県郷土伝統工芸品で、本来は山梨県南巨摩郡早川町雨畑地区で製硯されるものを謂うが、ここでは富士川町地区を含めて論じていく。

歴史は、鎌倉時代と江戸時代という2説がある。呼称も2通りで、正しくは「あめはた」であるが、一般には「あまはた」または「あまばた」と読むことが多い。硯材は、雄勝硯始め多くの和硯と同様、泥岩が層状に堆積した粘板岩である。所謂、一般的にはスレート、学術的には黒色粘板岩と称される。その中の一つが玄昌石と呼ばれるもので、これを現地では雨畑石、後に雨畑真石と呼ぶようになった。また、玄昌石を玄晶石と表記する。最盛期の明治時代、雨畑硯は特に著名なブランドであったため、硯材の埋蔵量が無尽蔵といわれる雄勝石を硯材として製硯したものを雨畑硯と称し販売されることが多くなったことで、当時の組合が、早川町産の硯材で製硯したものを雨畑真石（硯）と称し、硯陰に刻するようになったことが始まりである。つまり贗物防止のためである。雨畑硯の草分け雨宮家（歴代の雨宮弥兵衛）による作硯には雨端と刻銘される。この「端」は中国・端溪硯の「端」でもあり、それを意識した元老院議員の中村正直が、天機硯と呼ばれる雨宮家の硯で特に優れたものに「天機硯は、我が邦の端州硯なり」と評したことが発端である。

雨畑硯の最盛期、明治時代には雨畑硯製造販売組合が設立され、90〜100名を超える組合員がいたというが、現在では、早川町の工房1軒で1職人、富士川町では数軒の工房と数人の職人である。また、富士川町には7工房・5職人からなる甲州雨畑硯製造加工業組合もある。因みに、早川町は町の面積の96%が森林で日本一人口の少ない町である。

雨畑硯に限らず、硯は実用本位の文房具であった。これを11代目の雨宮静軒（1892〜1973）が、中国様式の硯からの脱却を図り、独自の芸術性をも醸した作品とする。その硯は、近代書道家や芸術家の間で高く評価され、美術品・芸術品としての和硯の黎明ともなる。

墨硯齋
～洗硯游筆～
(#21) 山梨・雨畑硯④

「硯は早川町の大切な産業であり、文化。」という思いで、雨畑硯の里・硯匠庵（館長天野元・硯匠望月玉泉）が設立された。現在、地域の住人達と硯匠庵管理協会を立ち上げ、早川町からの委託を受け、坑洞管理も行い、「硯匠庵雨畑真石」との登録商標もされ、早川町雨畑地区で採れた石は、硯匠庵でのみしか作硯されない。硯匠庵では、硯の展示販売だけではなく、製硯を見て、体験もできる。また、古文書等も展示されている。

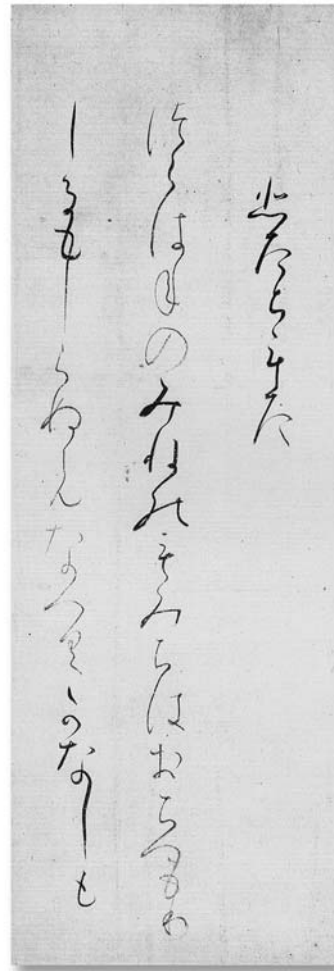


望月玉泉 作（2025年製）
6.8吋（17.0糎×10.5糎×2.8糎×510瓦）
銀刷帯紋が、まるで風に煽られ流れるように海へ注ぐ。
落ち着いた風情の中に野趣感ものぞかせた美しい逸品。

古典臨書部

課題 B

『高野切第一種』



古典臨書は、技術を磨き、表現力・想像力を豊かにし、鑑賞眼を養うことができる、不可欠の書学習です。本誌の掲載課題に限らず、様々な古典・古筆に広く眼を向けて、臨書することを推奨します。

課題 C

趙之謙『楷書汜勝之書八屏』



釈文

：和土。務糞澤。旱鋤獲
春凍解。地氣始通。土：

※太字は臨書参考例箇所。

臨書参考例（半紙）

鍊士 菊池 苔雲 臨



釈文

悲 徒 宇
ひたちうた
つくばねのみねのもみぢはおちつもり
しるもしらぬもなべくかなしも



紀貫之（866頃？～945頃？）

高野切は、『古今和歌集』の勅撰より150年後に書写されたもので、現存最古の写本で、高野山に伝来したことからこの名が付いた。当初20巻からなっていたが、のちに切り離され、現在は一部が断簡で残っている。筆者は紀貫之と伝えられていたが、実際は100年程後に3人の能書家が分担して書写（寄合書）したと推定され、その書風から第一種・第二種・第三種と分類される。第一種は、直筆を主とした優雅で落ち着いた運筆で、連綿は控えめである。



趙之謙（1829～1884）

趙之謙は、中国・清時代の書家・画家・篆刻家。幼少時より書・画・篆刻に志があり、書は顔真卿、篆刻は浙派の印などを学んだ。やがて、碑帖の研究に耽り、逆入平出による、個性の強い新しい楷法を拓いた。篆刻は、秦・漢の古法から離れ、鄧石如の刀法を採り入れ、空前の作風を展開した。画は、陳白陽・李復堂に迫ると評され、清朝末期における書・画・篆刻の三絶の大家と称される。

この『楷書汜勝之書八屏』と、『隸書張衡畫象四屏』は、何れも鄧石如・包世臣によって唱えられた逆入平出法に、円転・肉感を加えた独特の新しい書風で、北魏書を感じさせる。共に楷書・隸書の筆意を採り入れた、趙之謙の代表傑作である。

学生部規定 (古典臨書部D)

課題

：虞世南『孔子廟堂碑』

学生部は、図版中の任意の連続した二文字以上を半紙に臨むこと。
一般部は、「古典臨書部課題D」として半紙だけでなく、條幅にも挑戦すること。



釈文

：義。沛易明於九師。多士伏膺名儒接武。四海之内。靡：



作品が収められている西安碑林

孔子廟堂碑 (唐時代629年?)

唐の太宗が、文教振興のため、長安(現在の西安)に孔子廟を再建した時、勅令により、当時70歳の虞世南に文を撰し書かせたものである。碑は、建てられて間もなく、火災に遭って失われた。一見穏やかではあるが、力を内包し、品格が高く、古来、『温雅な楷書』と讃えられている。下に長くスマートで、やや向勢な字形、明るく穏やかな単純化された筆法である。



虞世南

虞世南 (558~638)

虞世南は、隋を経て唐に仕えた能書家で、欧陽詢・褚遂良と並んで『初唐の三大家』に数えられる。

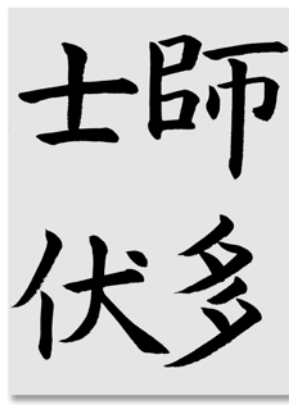
もの静かな性格で、学問への志もあつく、文章や書にも優れていた。特に、唐の太宗皇帝は、虞世南には、「得行・忠直・博学・文辞・書簡の五徳あり」として、重用し寵愛した。

臨書習作例



錬士 佐藤扇風臨

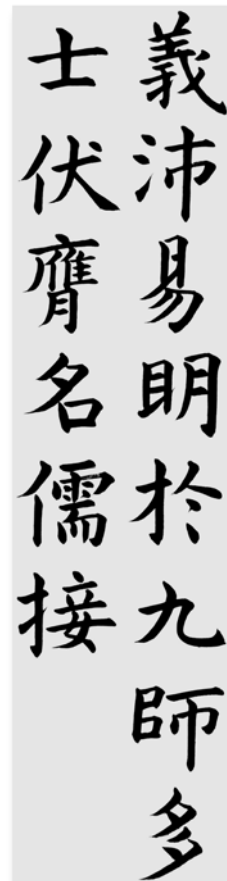
臨書参考例



(半紙)

錬士 菊池苔雲臨

(半折)



他の古典と比較!!



孔子廟堂碑



九成宮醴泉銘

背勢…画の中程を内側に引き締めた形。
向勢…画の中程を外側に膨らませた形。

筆法特徴



教育部毛筆規定

教育部課題の学年配当漢字・読み・字体・総画数・筆順は、文部科学省学習指導要領に準拠しているが、常識的な書写体を用いる場合がある。

中学二・三年(中学二年は楷書可)

鍊士 長澤佳玉書

の期待
星待

期 (12画) 期期期期期期期期期期

中学一年

主幸 菊池春苔書

抱大
く志

抱 (8画) 抱抱抱抱抱抱抱抱

小学六年

鍊士 中島州麗書

り高鳴

鳴 (14画) 鳴鳴鳴鳴鳴鳴鳴鳴鳴鳴

小学五年

教士 千條友菜書

風そよ

風 (9画) 風風風風風風風風風

▼手本揮毫委嘱者▼ (2026年4月現在)

《鍊士》

菊池栖雲／眞壁紅蓮／菊池苔雲／菊池苔鳳／佐藤扇鳳
兒玉春苑／松尾蓮佳／佐藤翠嶺／中島州麗／及川汀雲
小松原朴象／佐藤苔翠／鈴木紫雲／長澤佳玉／濱田春伶
佐々木扇翠／荒木玉扇

《範士》

岡安祥蓮

《教士》

千條友菜／高橋由佳／中山ありさ
松田由希菜／廣瀬苺妃／菊池美里
佐々木夢琉／伊藤心優／吉田優里

小学四年



教士 高橋由佳書

草 (9画) 草草草草草草草草草

小学二年



主宰 菊池春苔書

小 (3画) 小小小

小学二年



錬士 佐藤苔翠書

サ (3画) サササ

小学一年・幼年



錬士 佐藤扇鳳書

ず (4画) ずずずず

次号予告

中学一・三年…清風来る／中学一年…強い意志／小学六年…万緑中／小学五年…四つ葉／小学四年…さん歩／小学三年…かん光／小学二年…サツキ／小学一年・幼年…かぶと

◎教育部毛筆規定課題手本の揮毫は、墨州院認定指導者および、『書指導法特設科』修了者（錬士・範士・教士）に委嘱しています。

書指導法特設科

書道研究月刊誌『墨州』の教育部課題の手本揮毫者は、手本揮毫法や指導理論、古典臨書など、指導者として必要なことを月1回研究しています。また、書道研究墨州院認定指導者には、この「書指導法特設科」を受講する義務が課せられています。▼資格は下記の通り。1コマ2単位。()は資格取得条件段位。教士…24単位(三段)／範士…72単位(五段)／錬士…96単位(八段)



ペン字部・教育部硬筆規定

教育部課題の学年配当漢字・読み・字体・総画数・筆順は、文部科学省学習指導要領に準拠しているが、常識的な書写体を用いる場合がある。

硬筆学習のすすめ

① 正しい字形を学ぶため、「写し書き」をするべし!!

② 筆順に注意して、手本をよく見ながら書くべし!!



一般部(課題B)：主辛 菊池春苔書 / 一般部(課題A)・教育部：錬士 菊池苔鳳書



- ※①・②を何度も繰り返し返すことが大切です。
- ※硬筆用の下敷を使用すると、書き易くなります。
- ※一般部・中学生は万年筆を、教育部は必ず墨州院指定ペンを使用すること。

一般(課題B)

花弁非羅や 舞比とひ飛とぶ蝶能の ひらひらとひらと 乱れし赤黄知利尔 散里りにけり (北川吉史きたがわよしむ)

一般(課題A)

他人の評価に惑わされず 他人の評価に惑わされず
自分の価値を定義せよ 自分の価値を定義せよ

他人の評価に惑わされず自分の価値を定義せよ

中学2・3年

昨日までの自分を脱ぎ
捨てて一歩踏み出す

出 5画 出 出 出 出 出

中学1年

真っ白なノートの一
文字目に込める決意

込 5画 込 込 込 込 込

小学 4 年

花 7画
花 花 花 花 花 花 花

ポ き
の いろ
お の
花 タ
見 ン
つ ポ
け

小学 5 年

持 9画
持 持 持 持 持 持 持 持

ポ お
カ 日
良 さ
い ま
気 が
持 ポ
ち カ

小学 6 年

書 10画
書 書 書 書 書 書 書 書 書 書

香 教
り 科
に 書
心 の
は 新
は しい
ず
む

小学 1 年・幼年

加 2画
か 加 加 加

こ き
う よ
に う
い か
き ら
ま が
す つ

小学 2 年

セ 2画
セ セ

セ ビ
ル カ
一 ピ
ね カ
ん ラ
ん シ
せ ン
い ド

小学 3 年

名 6画
名 名 名 名 名 名

あ 名
た ま
ら え
ら を
しい よ
い ぼ
友 う
の の



漢字部《規定》
▽濱田春伶(中央・準九段)
縦画がやや緩いのは気になる。他はマズマズ可。落款拙い。



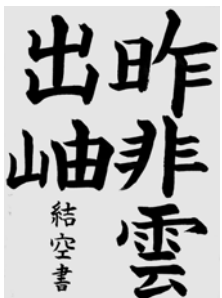
▽長澤佳玉(東京・八段)
墨が濃い目、墨量が不足気味で線が粗くなったのは惜しい。



▽中山ありさ(駒込・五段)
「雲」縮まったが、造像風の鋭くキレのある線が能く出ている。落款は拙過ぎる。



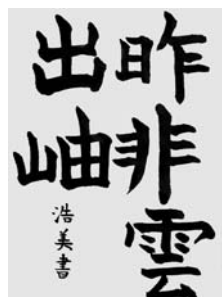
▽高塚礼子(横浜・三段)
小さ過ぎたものの、造像風の線がマズマズ出ている。この調子で臨みたい。



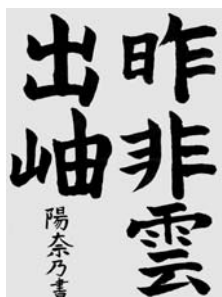
▽和泉結空(中妻・準初段)
「雲」の『ム』は拙かったものの、他はこの階級で申し分なし。



▽千葉愛菜美(長谷・特級)
造形・基本筆法とも可。但し字粒を揃え過ぎないこと。落款、堂々と書きたい。



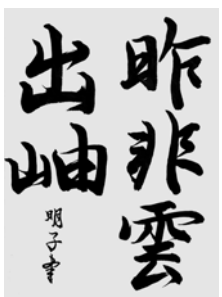
漢字部《行書体》
▽上野浩美(小友・準5級)
丁寧な書き振りだが、「雲」が右にズレた。落款、行書の方が書き易いであろう。



▽國分陽奈乃(水夏・準7級)
確り丁寧に書きた好感の作。「口」部等の接筆を全てくっ付けると窮屈に感ずるので、離したい。



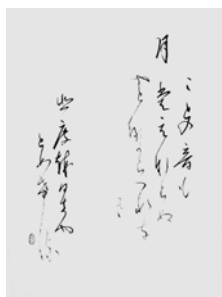
漢字部《行書体》
▽鈴木紫雲(中央・教授)
「昨」拙かった。落款大き過ぎ、線もベロンとしたので最後まで集中を。印は白文を。



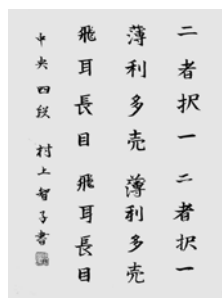
▽及川明子(光研・準初段)
造形性マズマズ。基本的には文字の途中で補墨しないようにしたい。落款、もう少し堂々と。



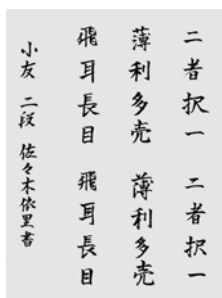
漢字部《行草書体》
▽松尾蓮佳(駒込・教授)
墨量均一過ぎたものの線はマズマズ。落款大き過ぎた。全体に線が細い。



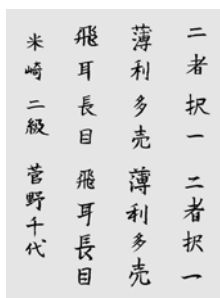
かな部《規定》
▽佐藤扇凰(中央・教授)
字幅が均一過ぎ、行の振幅が不足しました。潤筆部の墨量を増やしましょう。連綿線は不自然に感じられます。



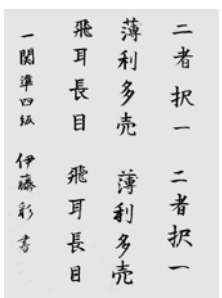
細字部《規定》
▽村上智子(中央・四段)
慎重な書き振りで細部に意が届いています。側款部は貧弱過ぎました。



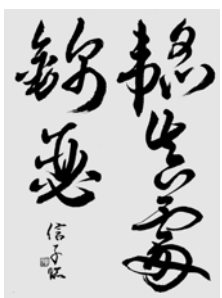
▽佐々木依里(小友・二段)
丁寧に書かれています。起筆部だけに力が入り、段々抜けているようです。徐々に力を込める運筆を意識しましょう。



▽菅野千代(米崎・2級)
線を引こうとするばかりではなく、圧す意識を持って臨みましょう。



▽伊藤 彩(一関・4級)
この階級以上の実力を感じられます。右余白広過ぎたのは残念でした。



古典臨書部《課題D》
▽熊谷信子(綾里・佳位)
良く出来ている方だが、転折部筆法に無理があるので、もう少し自然に出したい。

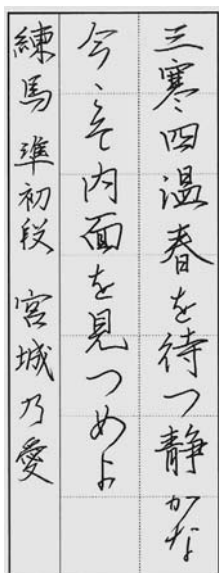


作品研究
▽佐々木扇翠(小友・佳位)
手本通りと思ひ、一字一字を置いた感じで動きがなかった。慣れたら、ワキ(手本)見をせず筆の動きに集中を。

審査・寸評担当者

菊池春苔(全部門) / 福島一浩(かな部) / 武川象濤(細字部) / 菊池栖雲(教育部毛筆)
菊池苔鳳(ペン字部・教育部硬筆・條幅部行書体) / 菊池苔雲(條幅部隸書体・古典臨書部・学生部)

ペン字部



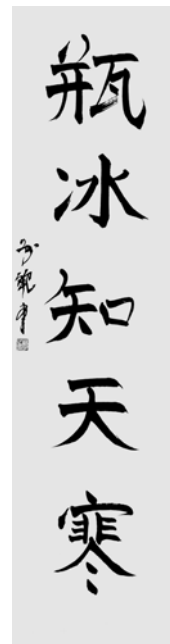
▽宮城乃愛（練馬・準初段）
この階級の以上の実力を
感じられる。線の太細変
化があれば申し分なし。

学生部

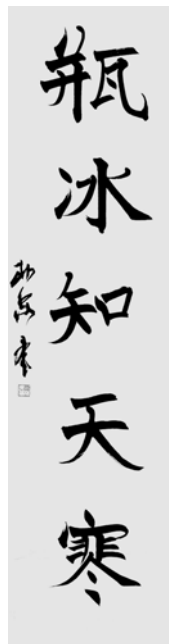
競書大賞



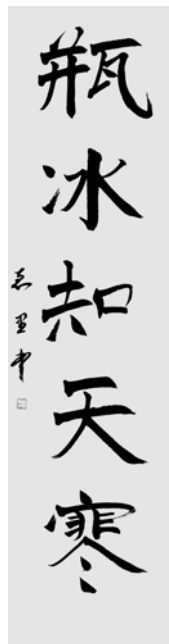
▽学生部《規定・課題D》
▽荒木葉蓮（小友・四段）
筆は能く動き、筆法もな
されていく。張墨気味で、
線がダブついて見えるの
は惜しい。



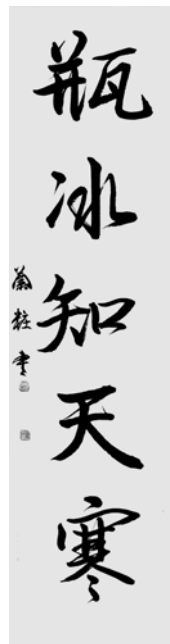
▽中島州麗（埼玉・秀位）
安定感はあるが、線の角
度が水平過ぎ、抑揚もな
いため活字的になってし
まった。



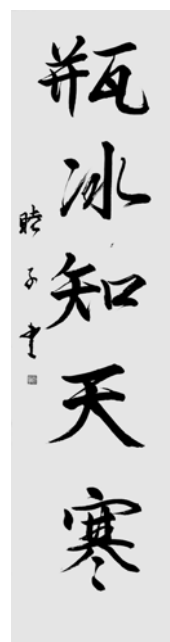
▽小松原朴象（駒込・佳位）
ツンツンした嫌味な線が
かなり少なくなつた。こ
の調子で臨みたい。中頃
から急に字粒が小さくな
つた。



▽菅野恵里（中央・入選）
逆入出法を得つつある。
不断の研究で何とかもの
にしたい。



▽播摩蘭粧（宮古・佳位）
これに張りのある線があ
れば、この階級では申し
分なかつた。側款、名札
的に等間隔にしない。



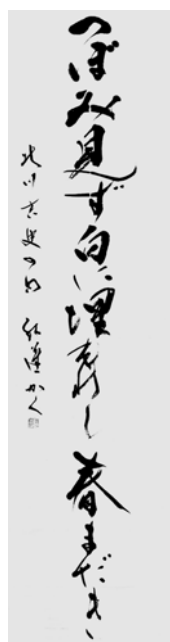
▽平田睦子（中央・佳位）
本文はこの階級として申
し分なし。側款、余りに
字間を開け過ぎた。「書」
筆脈はつきりしない。



▽甘竹荷州（台・秀位）
勢いのある線が強く出て
いるが、太細に限らず、
線の膨らみというものが
欲しい。



▽羽山季岳（足立・入選）
造形的には安定感がある
ものの、文字が大き過ぎ
紙面を圧してしまつた。
運筆の遅速強弱が感じら
れない。側款位置、下が
り過ぎ。



▽眞壁紅蓮（駒込・佳位）
滲みを効かせようとした
ものの、前半が張墨にな
り過ぎ、後半が尻すぼみ
になつたのは惜しい。

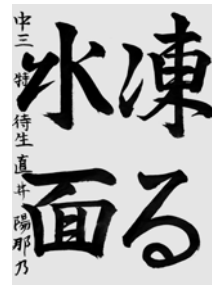
特 待 生



和泉結空



川上仁愛



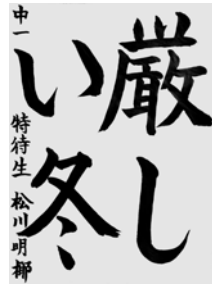
直井陽那乃



佐藤 心



金野龍真



松川明椰



臼井碧海



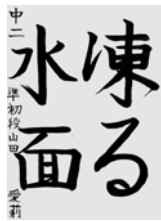
千葉愛菜美

特待生は、本院認定の教育部最高位資格であり、その取り組み姿勢は他の生徒の範となり得るもので、作品は、書道研究月刊誌『墨州』に毎月掲載されます。特待生になる為には、年に1度の「特待生試験」に合格しなくてはなりません。「特待生試験」の受験有資格者である準八段以上は、全会員の約3%で、「特待生試験」の合格率は、過去10年間で平均43%です。

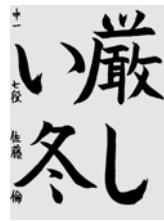
優 秀 作 品



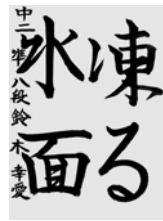
村上那月



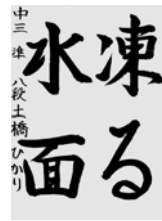
山田愛莉



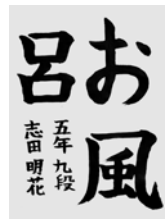
佐藤 倫



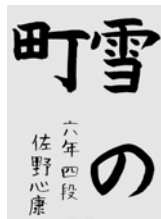
鈴木幸愛



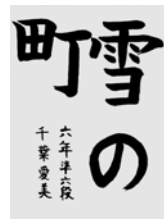
土橋ひかり



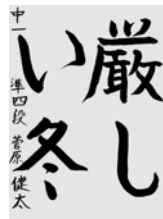
志田明花



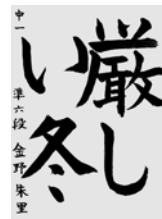
佐野心康



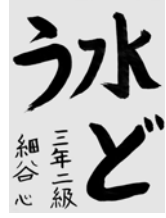
千葉愛美



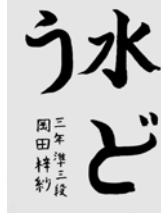
菅原健太



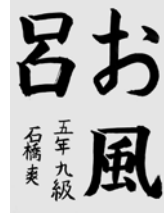
金野朱里



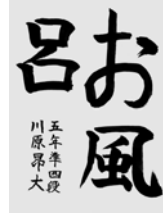
細谷 心



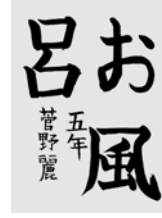
岡田梓紗



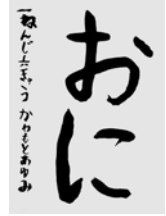
石橋 爽



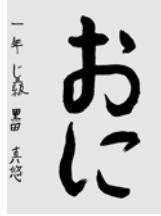
川原昂大



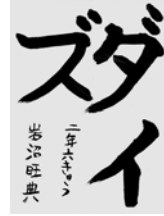
菅野 麗



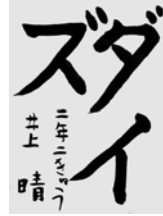
河本歩実



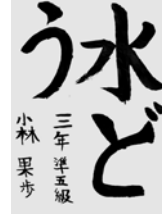
黒田真悠



岩沼旺典

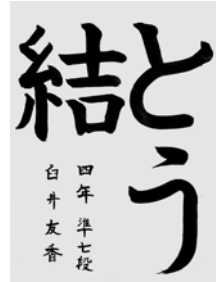


井上 晴

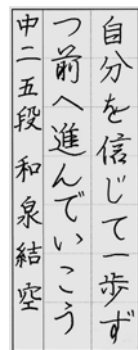


小林果歩

競 書 大 賞



臼井友香 (小友)



和泉結空 (中妻)

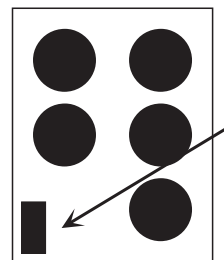
第577回 (2026年3月10日締切課題) 月例競書成績表

この名簿は、各部門の上位(教育部は高学年の高段級位)から順に掲載している。幼年には段級位制を導入しない。小学入学時に実力相当段級位に編入する。各規定部は、それぞれ独立しているので注意すること。成績表の見方:◎競書大賞(昇格)☆特別昇格◎写真版(昇級)○昇級◇優秀作品◎長期競書不出品再開※作品不備(没書扱い)。

Table with columns for award categories (e.g., 漢字部, 規定, 授教, 行書体, 行草書体, 楷書体, 篆書体, 漢文文書部, 半紙, 漢字部規定, シニア講座, 作品研究部, 古典臨書部) and rows of names and locations.

行書体	教育部毛筆規定	【準五年】	【準三年】	【準二年】	【準一年】	【準五年】	【準三年】	【準二年】	【準一年】	【準五年】	【準三年】	【準二年】	【準一年】	【準五年】	【準三年】	【準二年】	【準一年】	【準五年】	【準三年】	【準二年】	【準一年】	
光研 菅生るみ子	【特待生】 中妻川上 仁愛 中妻和泉 結空 長谷千葉愛菜美	【特待生】 中妻川上 仁愛 中妻和泉 結空 長谷千葉愛菜美	【特待生】 中妻川上 仁愛 中妻和泉 結空 長谷千葉愛菜美	【特待生】 中妻川上 仁愛 中妻和泉 結空 長谷千葉愛菜美	【特待生】 中妻川上 仁愛 中妻和泉 結空 長谷千葉愛菜美	【特待生】 中妻川上 仁愛 中妻和泉 結空 長谷千葉愛菜美	【特待生】 中妻川上 仁愛 中妻和泉 結空 長谷千葉愛菜美	【特待生】 中妻川上 仁愛 中妻和泉 結空 長谷千葉愛菜美	【特待生】 中妻川上 仁愛 中妻和泉 結空 長谷千葉愛菜美	【特待生】 中妻川上 仁愛 中妻和泉 結空 長谷千葉愛菜美	【特待生】 中妻川上 仁愛 中妻和泉 結空 長谷千葉愛菜美	【特待生】 中妻川上 仁愛 中妻和泉 結空 長谷千葉愛菜美	【特待生】 中妻川上 仁愛 中妻和泉 結空 長谷千葉愛菜美	【特待生】 中妻川上 仁愛 中妻和泉 結空 長谷千葉愛菜美	【特待生】 中妻川上 仁愛 中妻和泉 結空 長谷千葉愛菜美	【特待生】 中妻川上 仁愛 中妻和泉 結空 長谷千葉愛菜美	【特待生】 中妻川上 仁愛 中妻和泉 結空 長谷千葉愛菜美	【特待生】 中妻川上 仁愛 中妻和泉 結空 長谷千葉愛菜美	【特待生】 中妻川上 仁愛 中妻和泉 結空 長谷千葉愛菜美	【特待生】 中妻川上 仁愛 中妻和泉 結空 長谷千葉愛菜美	【特待生】 中妻川上 仁愛 中妻和泉 結空 長谷千葉愛菜美	【特待生】 中妻川上 仁愛 中妻和泉 結空 長谷千葉愛菜美

競書出品時の注意
 競書作品締切は毎月10日です。展覧会等の行事や祝祭日に関わらず厳守するようお願いいたします。
 また、提出の際は下記の必要事項を記入してください。



半紙（細字除く）・條幅共に作品の左下隅に教室名・段級位・姓号名を鉛筆で記入すること。
 ただし、本文・落款に重なる場合は作品裏でも可。
 ※教育部硬筆は教室名を記入すること。

【初段】	【準初段】	【準二段】	【準三段】	【準四段】	【準五段】	【準初段】	【準初段】	【準二段】	【準三段】	【準四段】	【準五段】	【準初段】	【準初段】	【準二段】	【準三段】	【準四段】	【準五段】	【準初段】	【準初段】	【準二段】	【準三段】	【準四段】	【準五段】
矢野 千葉	矢野 千葉	矢野 千葉	矢野 千葉	矢野 千葉	矢野 千葉	矢野 千葉	矢野 千葉	矢野 千葉	矢野 千葉	矢野 千葉	矢野 千葉	矢野 千葉	矢野 千葉	矢野 千葉	矢野 千葉	矢野 千葉	矢野 千葉	矢野 千葉	矢野 千葉	矢野 千葉	矢野 千葉	矢野 千葉	矢野 千葉

創立 80 周年



墨州院 デジタル美術館

SINCE2026

まもなく「日本書道」はユネスコ世界無形文化遺産へ登録される見込みとなりました。今後正式に登録が発表され、世界中から注目を集めることとなるでしょう。

今年創立80周年を迎える書道研究墨州院では、記念事業として、『墨州院デジタル美術館』を開設して、書道の魅力を世界中に発信することとしました。

『墨州院デジタル美術館』では、常設展だけでなく、書道展・個展・全国の書友とのコラボ展など様々な企画を検討しております。

墨州院ホームページにアクセスしていただき、無料にて鑑賞することができます。

【開催中のイベント】

- 墨州院第39回東京展
- 第34回国際高校生選抜書展
- 墨州院第48回全国書初展

【ホームページ】



～書道研究墨州院80周年記念事業～

墨州院第1回デジタル書展

書道研究墨州院が80年紡いだ伝統・歴史を世界へ発信するべく、開催することとしました。

万国の鑑賞者を意識して、作品を生み出す楽しみに触れる機会となりますよう期待しております。

- 会 期 : 2026年7月1日(水)～7月30日(木)
- 会 場 : 墨州院デジタル美術館
- 主 催 : 書道研究墨州院 (主宰・会長菊池春苔)
- 後 援 : 毎日新聞社・毎日書道会・一瀾書道会・大船渡市
気仙芸術文化協議会・東海新報社 (依頼中含)

* 作品内容 : 書道芸術作品 (「書道」という括りであれば、部門は問わない。)

* 作品規定 : 8尺×2尺まで (縦横形式自由)

* 締 切 : 2026年6月1日 (月)

* 経 費 : 役員:5,000円 / 会員 (U23含):3,000円

* 手 本 料 : 必要な場合のみ申込可

※締切・会期は多少の変更となる場合もある。

～書道研究墨州院認定～ 2026年《前期》段級位昇格試験要項

★2026年4月号迄の直近3ヶ月間競書不出品者の受験資格はないものとする（新入を除く）★

●締切：2026年6月10日(水) 18:00必着 ●合格発表：書道研究月刊誌『墨州』7月号予定

■ 一般部

昇格試験の受験者を次の通り区分し、受験科目、受験料減免等の優遇措置を適用する。
ただし、①・②はいずれも通塾会員・通信部会員のみの適用とする。適用外は③または④とする。
①書指導法特設科受講者かつ(※)指定書道展出品者／②指定書道展出品者／③一般／④シニア
※指定書道展…墨州院全国展・墨州院東京展・毎日書道展・国際高校生選抜書展

■ かな部

《課題》 ■ A…基本編①『いろは歌』 ■ B…基本編②『あめつちの歌』 ■ C…基本編③『とりなの順』
■ D…基本編④『徒然草』 ■ E…古筆臨書『著名な作品を選択』 ■ F…創作『小倉百人一首』より一首
■ 講習（2026年4月26日(日)10:00～12:00/中央教室)

受験部位(最高合格位)／受験者区分／受験料		A	B	C	D	E	F	講習
第1部 (十段迄)	① 11,000円 (受験料 8,000円・手本料 3,000円・講習料免除)						●	必須
	② 12,000円 (受験料 9,000円・手本料 3,000円・講習料免除)					●	●	必須
	③ 16,000円 (受験料 10,000円・手本料 3,000円・講習料 3,000円)	●	●	●	●	●	●	必須
	④ 12,000円 (受験料 9,000円・手本料 3,000円)				●	●	●	任意
第2部 (八段迄)	① 6,000円 (受験料 6,000円・講習料免除)				●	●		必須
	② 7,000円 (受験料 7,000円・講習料免除)			●	●	●		必須
	③ 11,000円 (受験料 8,000円・講習料 3,000円)	●	●	●	●	●		必須
	④ 8,000円			●	●	●		
第3部 (五段迄)	① 4,500円 (受験料 4,500円・講習料免除)		●	●	●			任意
	② 5,000円 (受験料 5,000円・講習料免除)		●	●	●			任意
	③ 9,000円 (受験料 6,000円・講習料 3,000円)	●	●	●	●			必須
	④ 6,000円		●	●	●			
第4部 (三段迄)	① 3,000円		●	●				
	② 4,000円		●	●				
	③ 5,000円	●	●	●				
	④ 5,000円		●	●				
第5部(3級迄)	全受験者 4,000円	●						

■ ペン字部

《課題A》所有から共有へ 物を持たない豊かさを模索する現代人
《課題B》槌音や 遠くなりけり 我が町も 薄れし記憶 語り残さむ

受験部位(最高合格位)／受験者区分／受験料		課題A	課題B	受験部位(最高合格位)／受験者区分／受験料		課題A	課題B
第1部 (十段迄)	① 3,000円		●	第3部 (五段迄)	① 3,000円		●
	② 4,000円		●		② 4,000円		●
	③ 5,000円	●	●		③ 5,000円	●	●
	④ 5,000円	●			④ 5,000円	●	
第2部 (八段迄)	① 3,000円		●	第4部 (三段迄)	① 3,000円	●	
	② 4,000円		●		② 4,000円	●	
	③ 5,000円	●	●		③ 5,000円	●	
	④ 5,000円	●			④ 5,000円	●	
				第5部(3級迄)	全受験者 4,000円	●	

■ 教育部毛筆

《課題》※小学1年～中学1年：かな・カナ・教育漢字／中学2年：楷行体／中学3年：行書に限る。

は	ンレ	ち夕	め大	光日	月雨	広青	の千	空水
れ	イ	だ	あ	の	の	し空	風年	気と
小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年
受験料(全段級位共通)					1,000円			
※実力相当位迄合格させる。ただし、再追試験・再提出・講習会参加等の条件付合格もあり得る。 ※学年・段級位・氏名を必ず墨書のこと。 ※低学年は、段級位に「準」が付いている場合『じ』と表記しても可。 ※受験希望者は、前もって受験票に受験料を添付して申し込むこと。ただし、一般部昇格試験も受験する場合は教育部受験料を免除する。								

■ 注意

- 納付された受験料は、受験結果・課題提出の有無の如何を問わず返却しない。
- 用具は、墨州院指定または推奨のものを使用すること。
- 合格者には、無料で合格證を授与する。認定證は別途(有料)申し込むこと。
- 指導者の補筆が甚だしい場合は、没書とする。
- 様式違反は、没書または昇格幅減とする。
- 審査に対する異議は、一切受け付けない。

—書道研究墨州院— インフォメーション

創始者



菊池海雲

主宰・会長



菊池春苔

書道研究墨州院は、1946年創立の菊池苔雲書道院を前進に「流派に固執しない・古法を伝承する・新風も大いに導入していく、実力・実績の純正書道」を提唱し、80周年を迎えました。また、1978年4月に創刊した書道研究月刊誌『墨州』は、49年を迎えました。これまで幾多の困難がありましたが、いかなる事業の中止や月刊誌の欠号もすることなく現在を迎えておりますことは最大の誇りでもあります。これも書道研究墨州院に集う会員皆様や関係各位のご支援ご協力あってこそこのことでもあります。

購読案内

購読されると競書出品活動・書展出品活動ができます。

誌代 1年購読 7,200円 (送料 3,000円)
半年購読 3,600円 (送料 1,500円)

※送料は送付希望の場合に限る。

※支部としてまとめた購読には割引がありますので問い合わせのこと。

※納入後の誌代・送料は返却しません。配本で代えます。

他部門への編入

本院で一般部段級位認定を受けたのち、他部門へ挑戦する場合は「新入」を経ずに「9級」から始められます。教育部会員が一般部(漢字部・ペン字部)へ出品する場合、下記の通り編入されます。

特待生・特待生候補⇒3級 高段位(五段以上)⇒5級
段位(五段まで)⇒7級 級位⇒9級

新規個人会員転入制度

新規個人会員で他団体から転入(移籍)希望の場合、転入審査により実力相当位から始められます。

※転入審査を受験されない場合は「新入」から始まります。

一般部転入審査料(十段まで) 5,000円

一般部転入審査料(五段まで) 3,000円

教育部・学生部転入審査料(段位以上) 2,000円

教育部・学生部転入審査料(級位まで) 1,500円

※段級位が証明できるもの(競書誌や合格證等)と該当部門の本院競書課題を添えること。

※支部としての転入の詳細は別途問い合わせのこと。

認定証交付規定

認定証(B3判)の交付希望者は姓名・段級位を明記の上、交付料を添えてお申し込みください。

認定証 5,000円

認定証(額装) 10,000円

※送付をご希望の場合は送料が別途掛かります。

通塾部

入会金 一般部 2,000円 (高校生以上)
教育部 1,000円 (中学生まで)

会費 地域・指導者によって異なる。

指導 本院認定指導者

通信部

入会金 一般部 2,000円 (高校生以上)
教育部 1,000円 (中学生まで)

添削料 半紙 300円/条幅 500円/ペン字 300円

※添削料はいずれも1回1種につき。

※添削期間は誌代期間と同一とする。

※返信用封筒(宛名明記・切手添付)を同封すること。

※全部門(手本付)の場合は通塾部会費に準ずる。

書指導法特設科

受講により指導者資格を取得できます。書の基本である古典臨書や書の歴史も学び、書活動の幅も広がります。

会費 3,000円(添削・手本・稽古付)

会場 岩手(大船渡)/東京(駒込)

指導 主宰・会長菊池春苔

※指導者は資格取得後も受講の義務有。

※資格取得者には、審査当番・揮毫当番委嘱制度有。

※通信添削にも対応する。

関東総局講習会

月1回程度開催する関東近郊会員への講習会です。

会費 3,500円/回

会場 東京(駒込)

指導 主宰・会長菊池春苔

各種展覧会

墨州院全国展・墨州院東京展・五百枝書道展
毎日書道展・気仙書友会展・他

各種揮毫・公演応募

作品・題字・名入れ・書道パフォーマンス公演・他

教室・講師派遣先

～いつでも・どこでも・どなたでも～約50教室・稽古日時のネットワークにより、最寄りの、系列教室・通信教育で指導が受けられます。指導には、中央一流書壇作家・書道専門学校出身者・書指導法特設科修了者が当たります。他会からの移籍も、団体・個人問わず、スムーズな受け入れ態勢です。

岩手 大船渡市(13教室)/陸前高田市(7教室)/釜石市(3教室)/盛岡市/矢巾町/花巻市/一関市/公立高(2校)

宮城 仙台市(宮城野区2教室/若林区) 福島 郡山市 埼玉 上尾市

東京 北新宿/西ヶ原/赤羽/駒込/神田/練馬/府中/私立大/公立高/私立高(2校)/私立中

神奈川 洋光台/磯子/港南 愛媛 四国中央市

総合案内

〒022-0002 岩手県大船渡市大船渡町新田44-15 TEL&FAX 0192-27-3406
URL <http://bokushuin1946.crayonsite.com> メール shodubokushu@yahoo.co.jp
郵便振替口座 番号: 02330-9-3537/名義: 書道研究 墨州院 本部

書道研究 墨州院 事務局

HP

